

平成22年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 446

| | | | | | |
|------|-------------------|-----|--------------------|------|-------|
| 所管部局 | 農林商工部 | 所管課 | 農林整備課 | 担当者名 | 谷 裕之 |
| 事業名 | 森林整備地域活動支援交付金交付事業 | | | 事業分類 | ソフト事業 |
| 細事業名 | 森林整備地域活動支援交付金交付事業 | | | 政策体系 | 211 |
| 会計 | 一般会計 | 科目 | 6.農林 - 2.林業 - 2.林業 | | |

1. 事業の概要

森林施業計画の作成を通じた、計画的かつ適切な森林整備の推進を図る

2. 事業の目的と必要性

①施策で目指す目標との関連付け

森林施業計画の計画期間を通じて地域活動（対象行為）を行うものに対して交付金を交付するものである

②事業を実施する必要性

間伐の遅れや手入れ不足により放置された人工林が増加しており、森林施業計画の作成を通じた、計画的且つ適切な森林整備を進めるための地域活動は必要不可欠である

3. 事業費の推移

| | | 単 位 | 平18決算 | 平19決算 | 平20決算 | 平21決算 | 平22予算 | 平23計画 | 平24計画 |
|-------------------------|----------|-----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|-------|
| 決算額または計画額 | | 千円 | 59,032 | 42,000 | 42,071 | 42,602 | 42,665 | 46,500 | 0 |
| うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等 | | 千円 | 232 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 財 源 内 訳 | 使用料・手数料等 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 国・府支出金 | 千円 | 44,071 | 31,186 | 31,216 | 31,686 | 31,733 | 34,507 | 0 |
| | 地方債 | 千円 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 一般財源 | 千円 | 14,961 | 10,814 | 10,855 | 10,916 | 10,932 | 11,993 | 0 |
| 職員等の従事人員 | | 人/年 | — | — | 0.35 | 0.20 | | | |
| 人件費 | | 千円 | — | — | 2,463 | 1,463 | | | |
| 事業費総額 | | 千円 | — | — | 44,534 | 44,065 | | | |

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。
 ※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

4. 主な事業費の内訳

施業実施区域の明確化等の地域活動に対する交付金 41,132,000円（交付金）
 交付金交付事務等の事務費 1,470,000円（消耗品費等）

5. 事業結果の概要

施業実施区域の明確化等の地域活動に対する交付金協定
 105団地 8,185.47ha

6. 活動の詳細

| 活 動 内 容 | 活動日又は時期 | 活 動 結 果 等 |
|--|------------|---|
| (1) 交付金の交付 | | |
| 森林施業計画の、計画期間を通じての地域活動（対象行為）を行うものに対して交付金を交付する。対象行為：施業実施区域の明確化、歩道の整備等 104団地 対象森林面積 8,144ha | 平成22年1月21日 | 間伐の遅れや手入れ不足により放置された人工林が増加しており、森林施業計画の作成を通じた、計画的且つ適切な森林整備を進めるための、地域活動が図れた。 |

7. 所属長評価〔平成20年度から改善した点、今後の展開など〕

森林施業計画の作成により、適切な森林整備と地域活動の実施により森林所有者が、今一度山に目を向けてもらうためにも、引き続き事業実施を進める。

【参考】過年度の評価

■平成21年度の所属長評価

- ①有効性・効率性を向上させるため、担当職員と議論を重ねた点
計画的な森林整備の必要性
- ②当該事業のアピール事項
森林施業計画の作成を通じた、適切な森林整備を進めるための地域活動の必要性。
- ③反省点、今後の展開・方向性等
森林所有者が、今一度山に目を向けてもらうためにも、引き続き事業実施が必要である。